



「小学生考案！ ふるさと魅力 UP 返礼品の授業」 開催について

令和 7 年 6 月 5 日

(問い合わせ先)

担当：企画政策課ふるさとつながり係 白瀬

直通電話：0248-88-9131

Eメール：kikaku@city.sukagawa.lg.jp

報道機関 各位

市では、若い世代の意見やアイデアを市政に反映する取り組みのひとつとして、須賀川市立義務教育学校稲田学園 6 年生 25 名を対象に、総合的な学習の時間を活用して「ふるさと納税」の授業を実施します。

本授業は全 5 回にわたり、子どもたちがふるさと納税の仕組みや市の返礼品について学ぶことから始めます。その後、既存の返礼品の改良案を考案し、実際に返礼品提供事業者からのフィードバックも得ます。最終的には、考案した返礼品がポータルサイトに掲載され、実際に寄附を募ることを目指します。

全国的にも「中学生や高校生が考える返礼品」の事例は散見されますが、「小学生が考える返礼品」は非常に少ない取り組みです。

つきましては、下記の通り実施いたしますので、ぜひご取材くださいますようお願い申し上げます。

記

1 日時と内容

	日時	校時	内容	取材申込締切日
1	6 月 13 日 (金) 13:30~15:15	5・6 校時 (90 分)	・ふるさと納税の仕組み、歴史、課題 ・須賀川市の取り組みや返礼品を学ぶ	6 月 11 日 (水)
2	6 月 19 日 (木) 13:55~14:40	5 校時 (45 分)	・須賀川市返礼品のブラッシュアップ案作成	6 月 17 日 (火)
3	6 月 26 日 (木) 10:35~11:20	3 校時 (45 分)	・作成案を事業者とともに、さらに練る	6 月 24 日 (火)
4	7 月 3 日 (木) 10:35~11:20	3 校時 (45 分)	・返礼品の写真撮影、PR 方法を学ぶ	7 月 1 日 (火)
5	7 月 17 日 (木) 10:35~11:20	3 校時 (45 分)	・完成した返礼品のポータルサイトを確認	7 月 15 日 (火)

※第 1 回は須賀川市長参加予定

2 場所

須賀川市立義務教育学校稲田学園 6 学年教室 (須賀川市岩渕字岡谷地 1 番地)

3 取材について

全回取材、撮影が可能です。各回、取材申込締切日までに、①媒体名 ②取材予定者氏名・人数 ③当日連絡先を、上記市担当者までメールにてご連絡ください。

【 参考 】

1 授業の目的

「ふるさと納税」をきっかけに、子どもたちが地域の魅力に気づき、地元農家や生産事業者との交流を通じて、ふるさとの多様な価値を実感する機会を創出します。また単なる地域学習に留まらず、効果的な情報発信の方法や、マーケティングの基礎的な視点を養うことを目的としています。

～それぞれの立場での目的・目標～

- 児童 ： ふるさとを知り、ふるさとを愛する心を育て、社会や未来を拓く力を養う。
また、ふるさとの良さを再認識する。（稲田学園の目指す児童生徒像に通じる）
- 学校 ： 返礼品の改良・開発をとおり、生徒に成功体験を与え、モチベーションを向上させる。
稲田学園独自の取組みを近隣住民へ発信する。
- 市 ： ふるさと納税の寄附額の増進を図る。

2 授業開催へ至った経緯

昨年度、当時小学 5 年生だった児童らが市議会を見学した際に提出された、斬新なふるさと納税の返礼品案がきっかけでした。その提案は、市担当者や関係者を深く感嘆させ、その実現に向けて具体的な検討をし、授業の実施に至りました。

3 須賀川市立義務教育学校 稲田学園とは

令和 3（2021）年 4 月、須賀川市初の義務教育学校として開校

…小中学校の 9 年間を、ベーシックブロック 4 年/ミドルブロック 3 年/マスターブロック 2 年の 3 つに区分し
教育活動を行う

…小中学校の教員が同じ校舎に勤務している利点を生かし、相互乗り入れ授業を実施

4 講師について

中村 英敏（なかむら ひでとし） 愛知県出身 愛知大学社会学部卒業

社会教育主事の資格を保有し、高校生対象の返礼品に関する授業経験を持ちます。

所属 ： 株式会社エールアップ 代表取締役

業務内容：民間企業の新規商品開発、一次事業者の販路構築コンサルティング、海外貿易事業
ふるさと納税コンサルティング、地方自治体の地方創生コンサルティング、スタートアップ支援、
EC サイト管理運営、クラウドファンディングコーディネーター